

### 1. 教育の責任

学修活動を通じて、地域や社会の持続的な発展に貢献できる人材、自分らしいキャリアを主体的に歩むことができる人材を育成する。

「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」（春秋学期、2単位×2、1年生23人）、経営学の扉（春1コマ、秋1コマ）

「経営管理」（春学期、2単位、100人）

「飲食店の起業を学ぶ」（サマースクール、2単位24人）、「権限のないリーダーシップ2023」（ウインタースクール）

### 2. 教育の理念

学修活動において、①基礎的な知識と知識を生み出す思考様式(Knowing)、②コミュニケーションやリーダーシップといったコンピテンシー(Doing)、③自分らしいキャリアの軸 (Being) をバランスよく身につけられるよう指導する。

### 3. 教育の方法

#### 教育の目的と目標

##### (教員としての目標)

- ・知識や技術の伝達方法 基礎的な内容を分かりやすい事例で説明する。知のフロンティアに触れさせる。知識伝達だけではなく、実践と内省を促す。具体的な事例に触れさせる。
- ・学生との接し方 問いかけを行う。インタラクティブティーチング。演習をとり入れた PBL
- ・自らの専門分野における教員としての成長や発展 研究活動に継続的取り組み、論文や書籍の執筆。

##### (学生に求めること、学生に対する期待)

- ・学生の専門能力の向上 基礎的な概念を理解し、理論、実践、内省が知の創造につながることを理解する。
- ・学生の人間的成長 実践と内省を通じて、自分の価値観、使命、強みに気付いてほしい。

#### 教育実践

##### (教育実践)

- ・シラバス 科目ごとに作成し、el-Campus に掲載
- ・課題、試験 主にレポートや、プレゼンの成果を評価
- ・教科書の選定、テキスト 経営管理のみ教科書を指定。それ以外はプリント配付。
- ・学習方法 グループワークによる課題解決やその中でのリーダーシップの涵養を重視。
- ・双方向的な学習 el-Campus のディスカッション欄に授業の振り返りを書き込ませ、フィードバックする
- ・Web の利用 同上
- ・講義スタイル 対面による講義、演習

### 4. 教育の成果

学生からの授業評価アンケートにおいて、満足できるレベルの評価を得ることができた。

## ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：北村 雅昭 作成日：2023年12月15日

### 5. 改善への努力と今後の目標

- ・キャリアデザイン I、II については、学生の自己肯定感を高められるよう、学生をよく観察し、ポジティブフィードバックの頻度を増やすとともに、1on1 面談や自己紹介エッセイの作成を通じて、学生自身が自分の強みを発見することを支援する。
- ・経営管理については、積極的に企業の現実に触れさせることで、経営現象についての理解を促進した。今後は、具体的な企業の事例（新聞、雑誌の記事、YouTube 動画など）をより多く紹介するとともに、産学連携 PBL 授業として企業人を招きたい。
- ・飲食店の起業を学ぶについては、数字について弱さが見られたので、コストや収支に関わる説明を工夫したい。
- ・権限のないリーダーシップについては、トライアルを重ねつつ、リーダーシップ開発に適したプロジェクトの開発、企業との関係強化、リフレクションを促進する技法の充実などに努めたい。

### 【添付資料】

- ・シラバス